平成 28 年度　ＦＤ活動報告

地域保健学域 総合リハビリテーション学類/
総合リハビリテーション学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要
・総リハ学類教育改革委員会が主体となり、研究科および学類、専攻の FD 活動を実施している。

２　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期			
後期			
年度合計			

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
2016.11.4	グループワークを豊かな学習活動とするために　―ジグソー法の理論的背景とその活用―	セミナー	
2016.12.14	反転授業に活用できる講義資料配信の手法	セミナー	
2017.3.17	学生の主体的・協調的な学びをもたらす反転授業　山梨大学の事例	セミナー	
2016.8.29	第 1 回地域保健学域 FD カフェ 「フリートーク：研究領域および今後の研究のコラボレーションについて」	フリーディスカッション	18 名（看護学類 7 名、総リハ学類 11 名
2017.3.22	第 2 回地域保健学域 FD カフェ 第 1 部　話題提供「大阪における子供の貧困－実態調査から」報告者：教育福祉学類　嵯峨嘉子准教授 第 2 部　ディスカッション	セミナー	2626　名（看護学類 16 名、総リハ学類 9 名、教育福祉学類 1 名

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
総リハ学類教育改革委員会	教育改革専門委員会における議事内容の報告と質疑応答	4	4

地域保健学域 FD 合同委員会	FD カフェの内容の企画、実施	4	4

５　その他取り組みの具体的実施状況

・学類では臨床実習指導者会議，FD 研修等につき例年同様の活動の充実を図った。

・学類　栄養学専攻では、編入学廃止に伴うカリキュラム変更準備（29 年度より実施）を行った。

・大学院では全教員参加による中間報告会を引き続き開催し，研究指導方法の更なる改善を図っていく。

・大学教育再生加速プログラム（AP）事業を引き続き推進する。

・コア・プロジェクト-在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成-医療と在宅ケアの連携を推進する人材育成プログラム（平成 26 年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」選定事業）を推進する。

・学部/学類，大学院授業アンケート等，FD 関連のアンケートへの参加を学生に促す。高等教育開発センター主催の各種 FD 研修会への参加､遠隔で行われる FD 研究会への参加を呼び掛ける。

平成 29 年度総合リハビリテーション学類/研究科 FD 活動計画案

・学類では臨床実習指導者会議、FD 研修等、例年同様の活動の充実を図って行く。
・大学院では全教員参加による中間報告会を引き続き開催し，研究指導方法の更なる改善を図っていく。
・大学教育再生加速プログラム（AP）事業を引き続き推進する。
・コア・プロジェクト-在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成-医療と在宅ケアの連携を推進する人材育成プログラム（平成 26 年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」選定事業）を推進する。
・昨年度から開始した地域保健学域セミナー「FD カフェ」を 2 回開催する。
・その他　学部/学類，大学院授業アンケート等，FD 関連のアンケートへの参加を学生に促す。高等教育開発センター主催の各種 FD 研修会への参加、遠隔で行われる FD 研究会への参加を呼び掛ける。